

令和八年度 前期入学試験問題

国

語

注意 答えはすべて解答用紙に記入すること。

純真高等学校

—

次の文章を読んだ上で、後の問いに答えなさい。

マルハラという言葉が、2024年の春、新聞やテレビ、ネットを賑わせた。マルとは句点のこと、マルハラスメントを略してマルハラ。中高年がLINEなどのSNSで送信する際、文末に句点を付けることが、威圧的に取られるという話だ。「連絡をください。」「わかりました。」等の句点が、若者には怒っているように感じられるらしい。

いやはや、なんでもハラスメントになる時代だと驚く。と同時に、世代間でのギャップがコミュニケーションの妨げになるのだとしたら、お互いの感覚を理解して、エンマン^aにやりとりをしたいものだとも思う。これはハラメントというよりは、わりとシンプルな誤解ではないだろうか。

若者が、LINEでの会話に句点があることに違和感を抱くのは、それが限りなく話し言葉に近いと思っているからだ。だから「マル」がついていると、あえて付けたように感じてしまう。たとえば日常会話で「わかった」ではなく「わかった、以上!」と言われたような感じではないだろうか。後者には「もうわかったから、このことにいつまでも拘泥するな」的なニュアンスが漂う。

いっぽうで中高年世代にとっては、LINEといえども画面に文字が出る以上、あくまでそれは書き言葉なのだ。書き言葉であるならば、文末には句点を打つのが当然であると思ってしまう。

もちろん若者たちも、いつさい句点を使わないわけではなく、学校のレポートや会社内でのメールなどでは、文末にマルを入れているはずだ。つまり、そこがどうい場なのかの認識の違いである。普段着であいさつしに来たつもりが、年上の人がスーツ姿で現れたら、イゴコチ^bが悪いし、なんだか自分の服装をとがめられたような気持ちになる。無言の圧力……それがハラスメントと感じられるのではないだろうか。

私は、若い世代とのやり取りでは、一文やひと言で済むときには句点は省略し、長めの文章になる時は付けている。日常的にやり取りしていれば、この人はこういうルールなんだなと伝わるので、さほど神経質にならなくてもいい。お互いのルールや感覚を探りあっているときには、年代の違いを考慮するのは有効だと思う。

また、マルハラの少し前に「おばさん構文」というのも話題になった。長文で、やたら絵文字や句読点が多いというものだ。ここでも句点が、マイナスのイメージで捉えられている。

そこでふと、自分の短歌を思い出した。日本語って、○で終わるんだな、それってなんだか素敵なことだと思い、詠んだ一首だ。世の中的には分の悪い句点だが、こういう見方もできるのでは? と思い、Xに投稿した。

句点を打つのも、おばさん構文と聞いて…この一首をそつと置いておきますね

【A】優しさにひとつ気がつく ×でなく○で必ず終わる日本語

ちょうどマルハラの話題と重なり、またたくまに10万を超える「いいね」^③がついた。朝日新聞や毎日新聞、読売新聞のコラムでも、マルハラの話題にからめて取り上げられ、反響の大きさに自分でもびっくりした。みなさん若者に気をつかいながらも、どこかで「マルをつけたい」「句点があるほうが落ち着く」「そんなつもりのマルじゃない」と感じる人が多かったのかもしれない。モヤモヤを抱えていたところに「マルで終わるって日本語の優しさでは？」という一首のメッセージが、ダイレクトに届いたようである。

リプライや引用リツイートには「私の文章も、こういう気持ちで見てほしい」「〇は怖くない。実は優しい!」「おじさんも助けてくれて、ありがとう」等々、中高年からの喜び(?)の声があふれていた。一首の短歌が、どんなふうに入々に手渡されていくか、可視化されるのがXの醍醐味の^④一つだ。

ちなみに、ここまで拡散されると、もちろん思いがけないリプライも付く。多かったのは「Xで終わる言語があるんですかね」というもの。いちおう反論というか補足をしておくと、「Xでなく」とは、「今から句点の〇を、〇×の〇と見立てますよ」というフクセンとしての表現である。

マルハラ問題に、もうひとつ日本語らしい観点があるとすると、「曖昧表現が好き」というのが考えられる。若い人が「句点で言い切られるのが怖い」というのは、裏返せば「言い切らないで柔らかく終わったほうが優しい」という感覚だ。

三十年ほど前になるが、若者の「とか弁」というのが話題になった。「映画とか見て」「アイスとか食べて」といった言い回しだ。映画以外は見てなくて、アイス以外は食べていなくても、こういう表現をする。それまでは「とか」と言えば、並列や列挙に用いるものだった。「トマトとかピーマンとかを育てています」といった具合に。今では大辞泉にも、二番目の用法として「断定を避け、あいまいにするために語の後に付ける。『学校とかから帰る』『補説』1990年代前半から若者の間で使われ、すぐに大人にも広まった。多用する話し方を『とか弁』ともいう。」と記されている。

あつという間に定着した背景には、日本人の曖昧好みがあるだろう。当時、とか弁に対して渋い顔をしていた大人たちだって「^⑤今度の日曜あたり、ゴルフでもしませんか」というような言い方を好んでしていた。月曜にテニスをすることは、ありえないのだが「今度の日曜に、ゴルフをしませんか」と言うと、ソフトさに欠ける。それと同じ理由で、よりふんわりした表現として「とか弁」は愛され広まった。

似たような例は他にもあつて「こちら、ピザトーストになります」の「なります」や、「メニューのほう、おさげします」の「ほう」などなど。「ピザトーストです」「メニューを」とはつきり言わないほうが、まどろっこしいが丁寧な印象になる。

文末の断定ということで言うと「会議を始めます」「会議を始めさせていただきます」^⑥「会議を始めさせていただきます」と思います」の順に、だんだん婉曲さが増していく。始めるということに変わりはないのだが、これがLINE等の文面で「会議を始めます。」となると、もしかしたら若い人には「会議を始めます。(キッパリ! 文句あつか?)」というニュアンスに見えるのかもしれない。

だいたい新しい言い回しというのは若い人から生まれて、大人が渋い顔をするというのが定番だ。その若い人から生まれるのが「とか弁」をはじめ、句点ナシなどの新しい曖昧表現というところが面白い。本質は上の年代と変わっていないとも言える。

もちろん曖昧というのは、決して悪いことではなく、日本語のコミュニケーションにおいては丁寧な印象を与えてくれる。言葉をむき出しではなく、何かにくるんだり、クッションをはさんだりして渡すほうがよしという文化である。ただ、あまりに過剰だと、なんというか責任逃れのムードが漂って、

よろしくないし、誤解を招くことにもなる。「前向きに検討させていただきます」は、ほぼやらないという意味合いだが、外国の人には通じにくい。時にはきつぱりと「無理です」と言ったほうがいい場面もあるだろう。就活用語で「お祈りメール」（不採用通知の婉曲表現。文末に○○様のこれからの活躍を心からお祈り申し上げます等と書く）というのがあるが、あれも心にもないことを形式的に言い過ぎると、かえって空々しい^⑥。潤滑油としての曖昧表現だが、使いすぎると滑るということを心しておきたい。

俵万智『生きる言葉』

問一 二重傍線部 a～d の片仮名を漢字に、漢字を平仮名に改めなさい。

問二 傍線部①とはどのようなものか。次の空欄に当てはまるように、十行目までの内容をふまえて三十字以内で考えて書きなさい。

LINEでの文章を、ということ。

問三 傍線部②とあるが、若者に何を誤解されているのか。「～ということ」に続くように本文中から十六字で抜き出しなさい。

問四 【A】の短歌にある「○」が表しているものを漢字で答えなさい。

問五 傍線部③の理由として考えられるものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 文章にはマルを付けるものだと考えている若い世代の人々が、筆者の考えに共感し、一斉に拡散したから。
- イ ハラスメントだと言われモヤモヤしていた中高年の人々が、筆者の短歌によってマルを肯定された気持ちになったから。
- ウ ×で終わる言語が世界には存在するかもしれないという新しい考え方が、新聞のコラムを通して広まったから。
- エ 「マルハラ」や「おばさん構文」を分かりやすく説明している筆者の短歌に、多くの人が面白さを感じたから。

問六 傍線部④と同じ内容を表している部分を本文中から四十六字で抜き出し、初めと終わりの三字を答えなさい。

問七 傍線部⑤に含まれる「曖昧表現」の一つを、一文節で抜き出して書きなさい。

問八 傍線部⑥の意味として当てはまらないものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 口先だけの イ わざとらしい ウ 心にもない エ 本当の

問九 本文の内容と合致するものは、どれか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 若者と中高年世代のどちらも文末のマルをハラスメントだと感じている。

イ 「とか弁」が愛され広まった背景には、日本人の曖昧好みがある。

ウ 日本人の多くは海外の人と同じように、断定表現を避ける傾向がある。

エ 日本では、海外と同様にきつぱりと言い切る表現の方が好まれている。

二 国語常識に関する次の問いに答えなさい。

問一 次の空欄に当てはまる慣用句を後から一つ選び、記号で答えなさい。

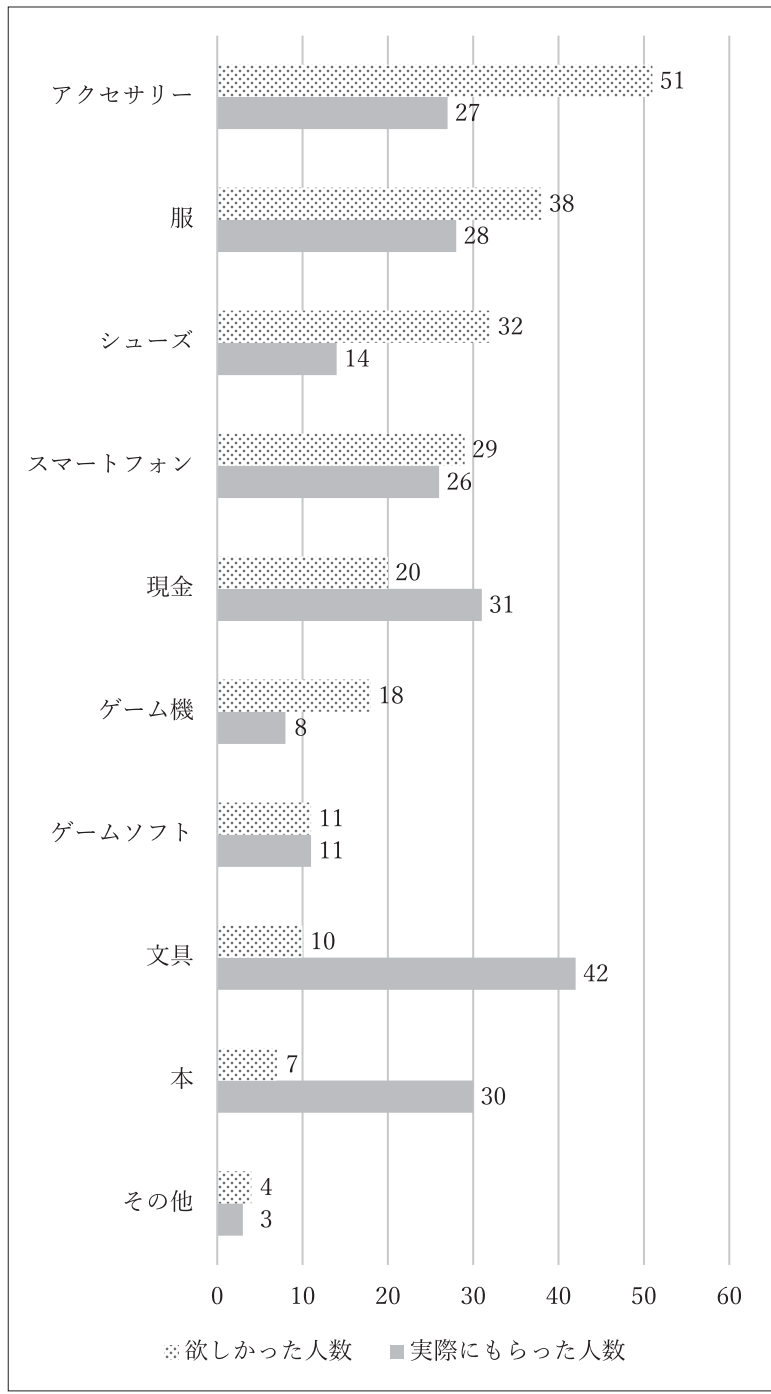
- ① 親しい友人が亡くなったことを聞き、（ ）。
- ② 友人の罪をかぶるなんて、（ ）行為だ。
- ③ 数ある作品の中でひとときわ（ ）作品だ。
- ④ 母に何度も同じことで叱られて（ ）。
- ⑤ 仕事中に取るに足らない話をして（ ）。

- ア 耳が痛い イ 油を売る ウ 色を失う エ 異彩を放つ オ 火中の栗を拾う

問二 次の空欄に入る漢数字をそれぞれ解答欄に記し、四字熟語を完成させなさい。

- ① 一日（ ）秋 ② （ ）鬼夜行 ③ （ ）里霧中
- ④ 首尾（ ）貫 ⑤ （ ）律背反

次の文章と資料を読んだ上で、後の問いに答えなさい。



このグラフは、ある中学校の一年生（二二〇人）を対象に、保護者からの誕生日プレゼントとして欲しかったものと、実際にもらったものについて、アンケート調査をした結果である。これらの項目のうち、欲しかった人数が、実際にもらった人数よりも多かった項目は（ A ）項目で、その中でもアクセサリは最も差が大きく、五十一人のうち（ B ）人は実際にもらえなかったことが分かる。反対に、欲しかった人数よりも実際にもらった人数の方が多くなっているのは文具で、その差は（ C ）人と、最も大きな差が生まれている。

以上のことから、中学生が欲しかったものと、保護者がプレゼントしたものとの間には明らかな違いが見られる。前者ではアクセサリ、服、シューズといった（ D ）（ E ）が上位の三つで、全部で百二十一人となっており、全体の半分をこえている。一方、後者の上位三つは文具、現金、本で、（ F ）と、「本人が自分で品物を選ぶもの」で百三人となり、全体の半分に迫っている。親は子どもの主体性に期待しているようだ。

問一 (A) (B) (C) に入る数字をそれぞれ答えなさい。

問二 (D) (E) に入る内容の組み合わせとして正しいものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- | | | |
|---|-----------|--------------|
| ア | D…高価な機械類 | E…家族全員で使うもの |
| イ | D…高価な機械類 | E…主に勉強に役立つもの |
| ウ | D…身につけるもの | E…家族全員で使うもの |
| エ | D…身につけるもの | E…主に勉強に役立つもの |

問三 資料から読み取れることとして正しいものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 欲しかった人数と実際にもらった人数の差が最も大きかったのはアクセサリーである。
- イ 欲しかった人数より実際にもらった人数の方が多いものは全部で三つである。
- ウ ほぼ半数の人がアクセサリーを欲しがっていたが、実際にもらったのはその半分ほどである。
- エ ゲームソフトを欲しがっていた人は、全員が実際にもらっている。

四

次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

今は昔、^{注1}天竺^{てんぢく}に留志長者とて、世に頼もしき長者ありける。大方蔵もいくらかともなく持ち、頼もしきが、心

富裕な

の口惜しくて、妻子にも、まして従者にも、物食はせ、着する事なし。おのれ物のほしければ、人にも見せず、^{けちくさくて}

隠して食ふ程に、物の飽かず多くほしかりければ、妻に^aいふやう、「飯、酒、くだ物どもなど、おほらかにして賜^た
^{たくさん用意してくれ}

べ。我に憑^つきて、物惜^{をし}まする^{注2}慳貪^{けんこん}の神祭らん」といへば、^A「物惜む心失はんとする、よき事」と悦^{よろこ}びて、色々

に調^{てう}じて、おほらかに取らせければ、^①受け取りて、人も見ざらん所に行きて、よく食はんと思ひて、^{注3}行器^{ほかう}に入れ、

^{注4}瓶子^{へいじ}に酒入れなどして、^②持ちて出でぬ。

「この木のもとには鳥あり、かしこには雀あり」など選りて、人離れたる山の中の木の陰に、鳥獣もなき所にて

一人食ひ居たり。心の楽しさ、物にも似ずして、誦^{ぞう}ずるやう、「今曠野中、食飯飲酒大安樂、猶過毘沙門天、勝天

口ずさむ

帝釈天^{たいしゃくてん}」。この心は、今日人なき所に一人居て、物を食ひ、酒を飲む。安樂なる事、^{注5}毘沙門^{びしゃもん}、^{注6}帝釈^{たいしゃく}にもまさ

りたりといひけるを、帝釈きと御覽じてけり。

憎^そしと思しけるにや、留志長者が形に化^けし給ひて、かの家におはしまして、「我、山にて、物惜む神を祭りたる

験^{しるし}にや、その神離れて、物の惜しからねば、かくするぞ」とて、蔵どもをあけさせて、妻子を始めて、従者ども、それならぬよその人々も、修行者、乞食にいたるまで、宝物どもを取り出して、配^{いた}り取らせければ、皆々悦びて、分け取りける程にぞ、誠の長者は帰りたる。

蔵どもみなあけて、かく宝どもみな人の取りあひたる、あさましく、悲しさ、いはん方なし。「いかにかくは
このように

するぞ」とののしれども、我^④とただ同じ形の人出で来て、かくすれば、
大声で騒ぐ限^{かぎり}なし。「あれは変化^{へんげ}の物ぞ。

我こそ其^そよ」といへど、聞き入るる人なし。御門^{みかど}に愁^{うれ}へ申せば、「母上に問へ」と仰^{おほせ}あれば、母に問ふに、「人に

物くるるこそ、我が子にて候はめ」と申せば、する方なし。

『日本古典文学全集』「宇治拾遺物語」一部改変

注1 天竺……現在のインド。

注2 慳貪……欲が深いこと。

注3 行器……食物を持ち運ぶ器。

注4 瓶子……とくり。酒壺。

注5 毘沙門……毘沙門天。北方を守り、福德を授ける善神。

注6 帝釈……帝釈天。仏法守護の善神。

問一 二重傍線部 a・b を現代仮名遣いになおし、すべてひらがなで答えなさい。

問二 傍線部①の主語を本文中から抜き出しなさい。

問三 傍線部 A～D の中で主語が異なるものが一つある。その記号を答えなさい。

問四 傍線部②について、何のために出かけたのか。その理由として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 山の動物たちにくだ物を食べさせるため。

イ おなかをすかせておいしく食べるため。

ウ 一人きりで思う存分に食べるため。

エ とりついた物惜しむ神を、祭るため。

問五 傍線部③について、なぜこうしたのか。その理由として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 留志長者が、帝釈より物惜しむ神を大切に祭ったため。

イ 留志長者の物惜しむ心を嫌ったため。

ウ 留志長者が、物惜しみをするのをからかうため。

エ 留志長者が、物惜しみをしなくなったのを祝うため。

問六 傍線部④「我」とは誰のことか。あてはまる人物を次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 留志長者 イ 御門 ウ 帝釈 エ 妻

問七 本文の空欄に入るものとしてふさわしい言葉を次の中から選び、記号で答えなさい。

ア おもしろき事 イ 不思議なる事 ウ ありがたき事 エ うれしき事

問八 本文の内容と合致するものはどれか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 留志長者の母は、本物の息子を見分けた。

イ 誠の留志長者は、自分の物惜しみを嫌って山に修行に行った。

ウ 留志長者の蔵の中の持ち物は、皆に分け与えられた。

エ 帝釈天は貧しい人々を救うために、留志長者に成りすました。

